

ランドルコーポレーション営業所

万が一不具合等ございましたら、販売店またはお近くの
営業所・サテライトまでお問い合わせください。

本社工場	〒354-0044 埼玉県入間郡三芳町北永井421 TEL.049-259-4433 FAX.049-259-4430
青森サテライト	〒030-0921 青森県青森市原別8-9-1 TEL.017-736-9535 FAX.017-736-9534
八戸サテライト	〒039-1164 青森県八戸市下長8-10-8 TEL.0178-20-8212 FAX.0178-20-8213
秋田サテライト	〒010-0941 秋田県秋田市川尻町字大川反170-81 TEL.018-893-3861 FAX.018-893-3862
岩手営業所	〒020-0846 岩手県盛岡市流通センター北1-2-20 TEL.019-614-3007 FAX.019-639-0631
仙台営業所	〒984-0821 宮城県仙台市若林区中倉3-17-54 TEL.022-782-5286 FAX.022-782-5287
埼玉営業所	〒354-0044 埼玉県入間郡三芳町北永井421 TEL.049-274-3132 FAX.049-274-3134
八王子サテライト	〒193-0824 東京都八王子市長房町22-26 TEL.0426-68-9168 FAX.0426-68-9167
東京営業所	〒120-0005 東京都足立区綾瀬1-20-18 TEL.03-5629-5080 FAX.03-5629-5081
千葉サテライト	〒262-0022 千葉県千葉市花見川区南花園2-9-21 RTサンライト101号室 TEL.043-213-5775 FAX.043-273-5754
横浜サテライト	〒220-0023 神奈川県横浜市西区平沼1-30-6 TEL.045-317-6052 FAX.045-317-6053
名古屋サテライト	〒485-0059 愛知県小牧市小木東1-12 TEL.0568-43-0790 FAX.0568-43-0830
大阪営業所	〒578-0981 大阪府東大阪市島之内2-14-27 TEL.072-960-3600 FAX.072-960-3700
岡山サテライト	〒700-0975 岡山県岡山市北区今8-3-35 TEL.086-242-6055 FAX.086-242-6066

株式会社ランドルコーポレーション本社

〒351-0034 埼玉県朝霞市西原1-7-1

代 表：TEL.048-475-3661 FAX.048-475-3712
営 業 部：TEL.048-475-3662

取扱説明書



まえがき

この度はランドルコーポレーションの製品をお買い
上げいただき誠にありがとうございます。

この取扱説明書には、ベッドを安全にお使いいた
くための注意事項と使用方法を記載しています。

■この取扱説明書をよくお読みになり正しく
ご使用ください。

■『安全上のご注意』はご使用前に必ずお読
みください。

■この取扱説明書はいつでもご覧いただける
ように大切に保管してください。

■お買い上げの製品は 改良などにより この
「取扱説明書」の内容と一部異なる場合が
あります。

M-3012D・E 1シリンダー2クランクギャッチベッド

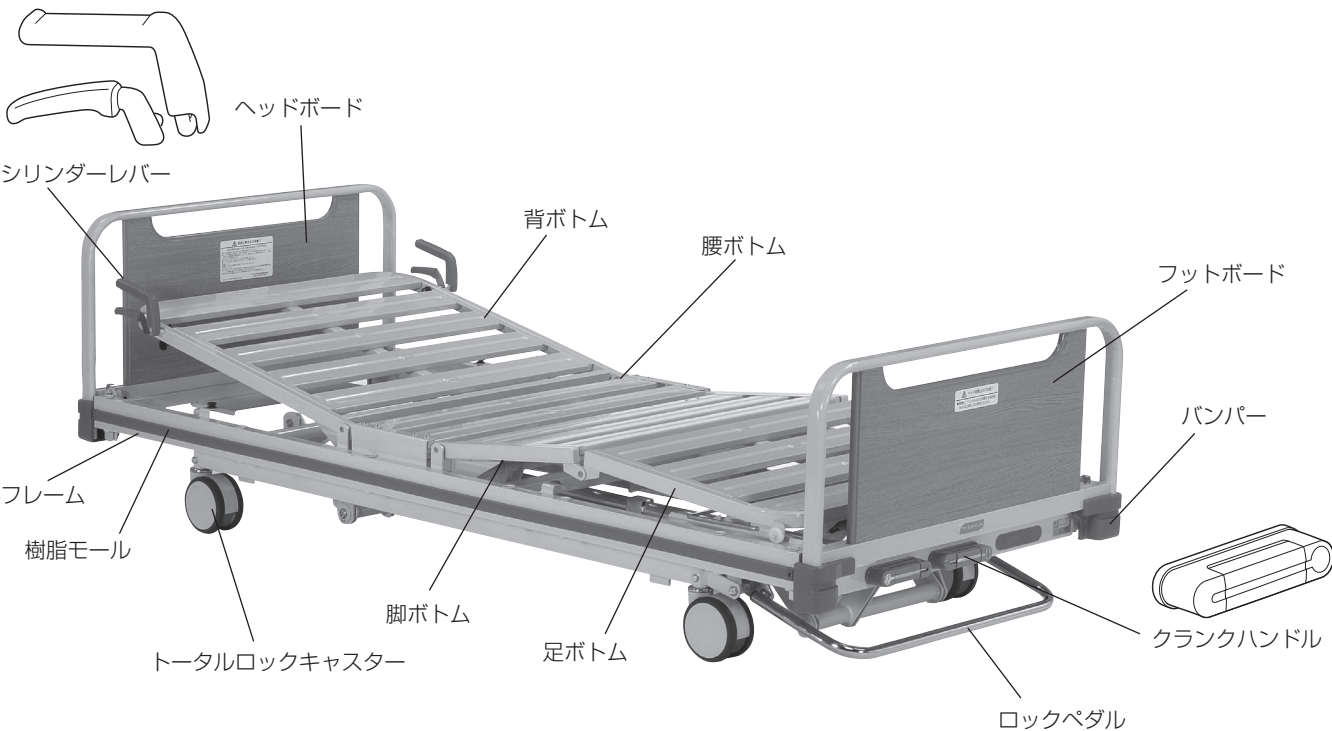
M-3012DT・ET 1シリンダー2クランクギャッチベッド

もくじ

○ 各部の名称と警告マーク	1
1.各部の名称	1
2.警告マーク	2
● 安全上のご注意	2～5
○ ベッド設置時のご注意	5
○ ベッドの動き	6
○ ベッドの取扱い	6
1.ベッドご使用前の確認	6
2.ベッドの操作	7～9
3.ベッドの搬送	10
○ 清掃時の取扱い	10
○ ベッド備品の取扱い	11
1.ベッド備品の安全上のご注意	11
2.サイドレールの取扱い	12
3.適合するマットレス	12
4.イルリガートルバーの取扱い	12
○ サービスご連絡前の確認	13
○ アフターサービスについて	13
○ ベッドの仕様	14

各部の名称と警告マーク

1. 各部の名称



2. 警告マーク

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、次のことを必ずお守りいただき正しくお使いください。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し説明しています。

警告 この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

注意 この表示の欄は、「傷害を負う可能性または家屋・家財などの物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています（下記は絵表示の一例です）。

 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

ベッドの仕様

型 式		M-3012D・E 〈M-3012DT・ET〉
名 称		1 シリンダー 2 クランクギッチベッド
動 作	背上げ	シリンダーレバー操作
		0 ～ 80 度
	足上げ	クランクハンドル操作
		0 ～ 36.5 度
	ハイロー (高さ調節)	クランクハンドル操作 ストローク 340mm
寸 法	足先上げ	1 段
	全 長	Dタイプは、2140mm / Eタイプは、2120mm
	全 幅	930mm
	全 高	D:660 ～ 1000mm E:650 ～ 990mm 〈D:675 ～ 1015mm ET:665 ～ 1005mm〉
	床 高	310 ～ 650mm 〈325mm ～ 665mm〉
	床 幅	830mm
	床 長	1920mm
キャスト	床ボトム数	4
	径	Φ 125mm 〈Φ 100mm〉
材 質	ロック機構	双輪対角ダブルロック 〈双輪トータルロック〉
	フレーム	スチール製、粉体塗装
	ボトム	スチール製、スノコ式、粉体塗装
	ヘッド・フットボード	Dタイプは、スチールフレーム・粉体塗装、木製ボード付 Eタイプは、木製、ソフトエッジ、取っ手付
サイドレールホルダー	サイドボード	樹脂モール付
		片側 7 個、イルリガートルホルダー兼用

サービスご連絡前の確認

- 修理を依頼する前に以下の項目をチェックしてください。それでも改善されないときは、ベッドの使用をやめて販売店に修理を依頼してください。

●チェック

症状：クランクハンドルやシリンダーレバーを操作しても動作しない。

対応：フレームやボトムなどが紐で縛られていませんか？紐を取外してください。

アフターサービスについて

保 証 書

品名／品番 1シリンダー2クランクギヤッチベッド(M-3012D/E/DT/ET)		保証期間 ★お買い上げ日 年 月 日より1年間	
お客様	お名前	★販売店	☎ ()
	〒 ☎ () ご住所		

★印欄の情報が確認できない場合は無効となりますので必ずご確認ください。

この保証書は、本書の記載内容に基づき無償修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から上記保証期間中に、取扱説明書、ラベル類などの注意書きに従った正しい使用状態で故障した場合は、本書をご提示の上、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。

【保証規定】

- 1.保証期間内（お買い上げの日より1年間）に、正常なご使用状態において故障した場合は、無償で修理いたします。
- 2.次のような場合は、保証期間内でも修理は有償となります。
 - (1) 使用上の誤り、あるいは不当な改造や修理による故障および損傷
 - (2) 弊社が指定する適合品以外の製品と組合せて使用したことによる故障および損傷
 - (3) お買い上げ後の移動、設置、落下あるいは輸送による故障および損傷
 - (4) 火災、煙害、異常電圧および地震、雷、風水害、その他、天災地変などによる故障および損傷
 - (5) 保証書のご提示がない場合
 - (6) 本保証書の保証期間および販売店名の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合
- 3.本保証書は日本国内においてのみ有効です。
 - This warranty is valid only in Japan
- 4.本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

■ 修理を依頼されるとき

本書の「サービスご連絡前の確認」にそって確認していただいても治らない時は、お買い上げの販売店、または弊社営業所・サテライトにご連絡ください。

◎連絡していただきたい内容

- 品名、品番、製品識別表示ラベルの番号
- お買い上げ日
- 故障、または異常の内容（できるだけ詳しく）
- お名前、ご住所、および電話番号

◎保証期間内は

保証書の記載内容に基づき無償で修理いたします。

ただし、保証期間内でも修理が有償となる場合があります。詳しくは保証書をご覧ください。

◎保証期間が過ぎているとき

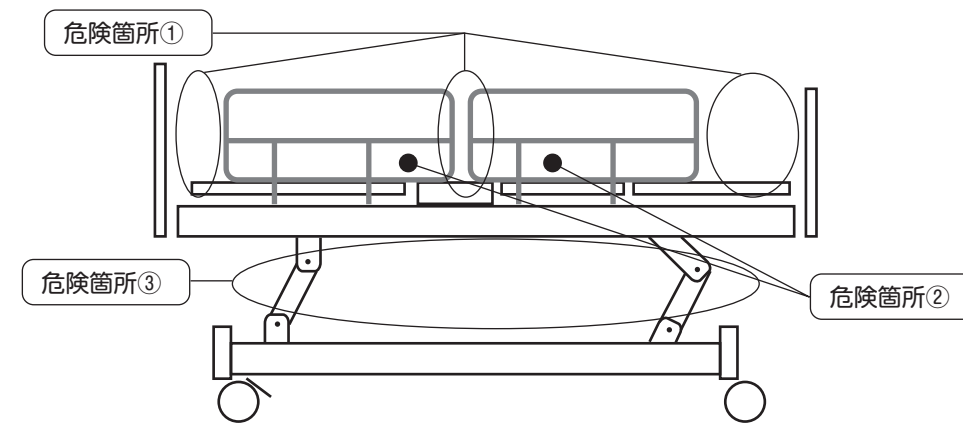
修理により使用できる製品については、ご要望により有償で修理いたします。

■ 製品の最低保有年数は

弊社では、ベッドの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間を製造打ち切り後、7年としております。

安全上のご注意

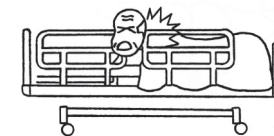
3000シリーズベッドは、病院や施設などの医療機関でのご使用を目的として設計・製造されています。ここでは、3000シリーズベッドの取扱いに関する全般的な「警告・注意」を示します。又、下記の「警告」は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示しています。事故を未然に防止するため必ずお守りください。



警告

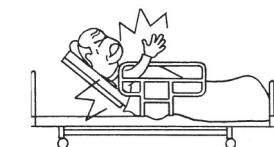
危険箇所①

サイドレールどうしの間、サイドレールとボードや（特にあがっている）ボトムなどとのすき間に頭や首、肩が入らないように注意してください。すき間にはさまれて、死亡・重傷の恐れがあります。



危険箇所②

サイドレール、介助バー、折りたたみサイドレールのパイプ間に頭、腕および足を入れたまま背上げ、膝上げ操作をしないでください。パイプの間にはさまれて、死亡・重傷の恐れがあります。



危険箇所③

ベッドを操作する時は、背ボトム・膝・足ボトムの下やベッドの下に体や手足を入れないでください。特に、幼児はベッドに近づけないでください。ボトムやベッド全体が降下する時、ボトムやフレームに挟まれて、重傷を負う恐れがあります。

危険箇所④

可動部分（フレームやボトムの下）に手や足を入れないでください。はさまれて、ケガをする恐れがあります。



危険箇所⑤

ベッドの高さを変えるときは、介護者の足先に注意をしてください。はさまれて、ケガをする恐れがあります。



警告



ベッドの上で遊ばないでください。ヘッド・フットボードおよびヘッド・フットフレーム、本体フレームなどのすき間に手や足がはさまれないように注意してください。

すき間にはさまれて、死亡・重傷の恐れがあります。



ベッドを操作するときは、12歳以下の子供をベッドに近付けないでください。

目を離したすきにベッド下部等にはさまれて、死亡・重傷の恐れがあります。



各部を操作する時は、手指を挟まないでください。ケガの恐れがあります。



ベッドの上で立ち上がったたり、とびはねたりしないでください。

転落して、ケガの恐れがあります。



背・膝ボトムが上がっている状態および足上げの状態、その部分に腰掛けしないでください。

転落して、ケガの恐れがあります。



サイドレール・オーバーテーブル等にぶら下がったり、のったりしないでください。

転落して、ケガをする恐れがあります。



うつぶせ姿勢で背上げ、膝上げ操作をしないでください。

ケガの恐れがあります。



頭側・足側を逆にして寝て、背上げ・膝上げ操作をしないでください。

ケガの恐れがあります。



ベッドに付いている警告ラベルは、はがしたり、消したりしないでください。

危険箇所に気付かず、ケガの原因になります。



操作を理解できない人にベッドを操作させないでください。

誤操作によるケガの原因になります。



ベッドに人が寝ている時は、サイドレールを取り付けてください。

ベッドから転落して、ケガをする恐れがあります。



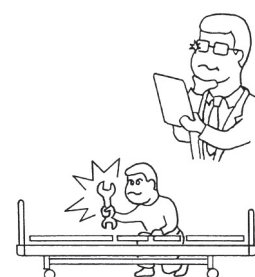
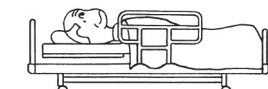
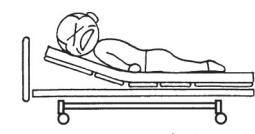
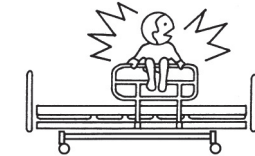
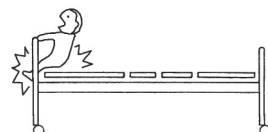
治療中の人は、医師に相談してから使用してください。

背や足上げ操作により、治療中の症状を悪化させることがあります。



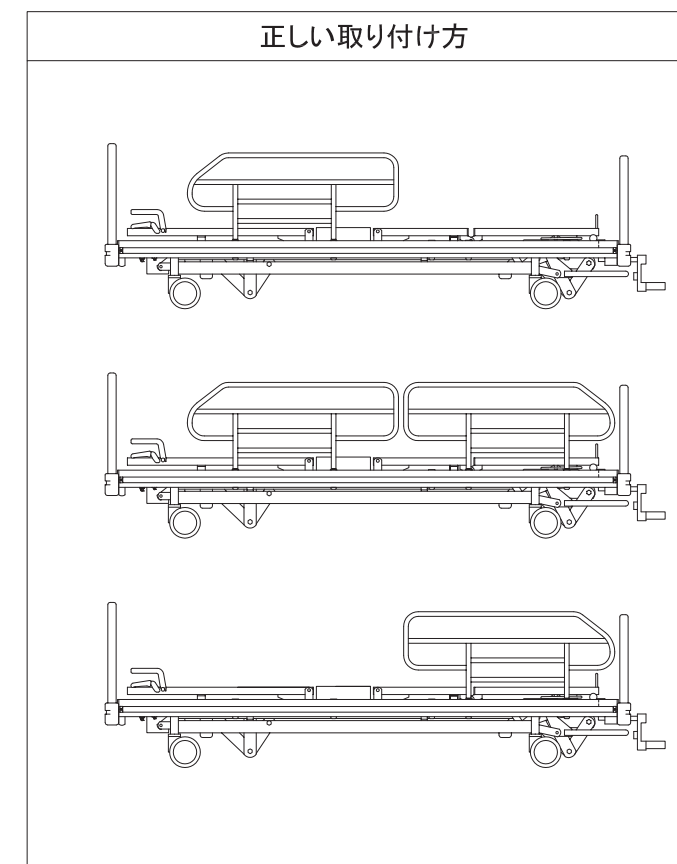
ベッドを分解したり、改造しないでください。

誤動作の原因になります。



2. サイドレールの取扱い

サイドレールの取付けは下記の図表を参照して、正しい組み合わせで、また正しい向きで取付けてください。



①ベッドの上に人が寝ている時は、必ず取り付けてください。

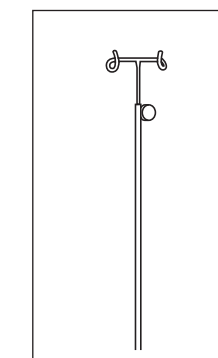
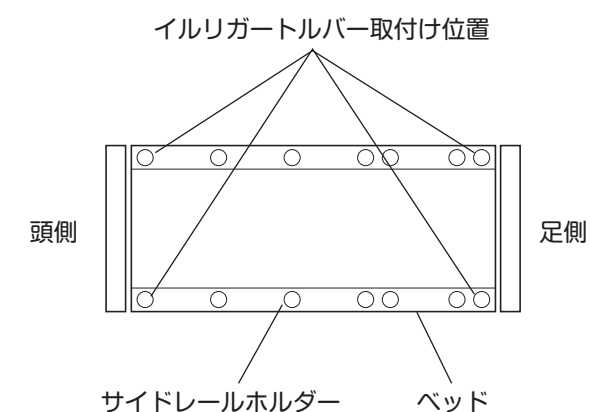
②サイドレールを持って起き上ったり、ベッドを搬送しないでください。

3. 適合するマットレス

長さ 1960mm × 幅 840mm × 厚さ 150mm 以下

4. イルリガートルバーの取扱い

イルリガートルバーは、下図の示す位置に差し込み使用してください。



〈イルリガートルバー〉

ベッド備品の取扱い

1. ベッド備品の安全上のご注意

警告

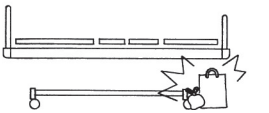
-  オプションは、弊社以外の物はお使いにならないでください。
破損、転落、転倒して、ケガの原因になります。
-  ベッド上に人が寝ている時は、必ずサイドレールを取り付けてください。
ベッドから転落して、ケガの恐れがあります。
-  幼児や小さなお子様をサイドレール・テーブルボード等で遊ばせないでください。
ケガの原因になります。
-  サイドレール・テーブルボード等に腰掛けたり極端な荷重をかけないでください。
壊れて、ケガの恐れがあります。
-  サイドレール・テーブルボード等に付属以外の部品を使ったり改造しないでください。
破損の原因になります。
-  サイドレールのパイプの間やすき間に頭、腕および足を入れたまま背上げ、膝上げ操作をしないでください。
すき間に挟まれて、死亡、重傷の恐れがあります。
-  サイドレールを持って起き上がったり、ベッドを搬送しないでください。
変形して、ケガの原因になります。
-  テーブルボード・サイドテーブルをご使用の場合は、テーブルボード・サイドテーブルをベッドから必ず取り外してベッドの各操作を行ってください。
テーブルが倒れたり、テーブルの上の物が倒れて、ケガや器物破損の恐れがあります。
-  サイドテーブルのノブは、確実に締め付けてください。
天板が落下して、ケガや器物破損の恐れがあります。

警告

-  サイドレール使用時もベッドからの転落に十分注意してください。
サイドレールの上から身を乗り出して転落。および、サイドレールとサイドレール、各ボードとサイドレールのすき間から転落し、ケガをする恐れがあります。
-  サイドレールなどを取付ける際は、オプション取付穴に異物が入っていないことを確認してください。
異物が入っていると確実に取付けることができず、ベッドから転落したり、意図せぬすき間が発生して、身体の一部がはさまれてけがをする恐れがあります。
-  オプションや突起物に衣類などが絡まないように注意してください。
ベッドの乗り降りなどの際に転倒して、ケガをする恐れがあります。
-  介護者などがベッドから離れたり、ベッドをご使用の方から一時的に目を離す際は、ボトムの角度やベッドの高さに注意してください。
万一のベッドからの転落に備え、ボトムの角度を水平にしてベッド高さを一番低い位置にしてください。
-  ベッドは定期的に点検してください。
使用の頻度や環境により、製品は摩耗・劣化します。定期的に各部のゆりみ、可動部の動作、破損の有無などを点検してください。思わぬケガをする恐れがあります。
-  被災したベッドは点検・修理してください。
地震・火災・水害などで被災したベッドは、お買い上げの販売店または弊社営業所・サテライトまで、点検・修理をご依頼ください。ベッドの変形による動作の異常によって、ケガをする恐れがあります。
-  火気に近付けないでください。
ベッドの近くで、ストーブなどの熱器具を使用しないでください。変形・変質・発火などの原因となります。

注意

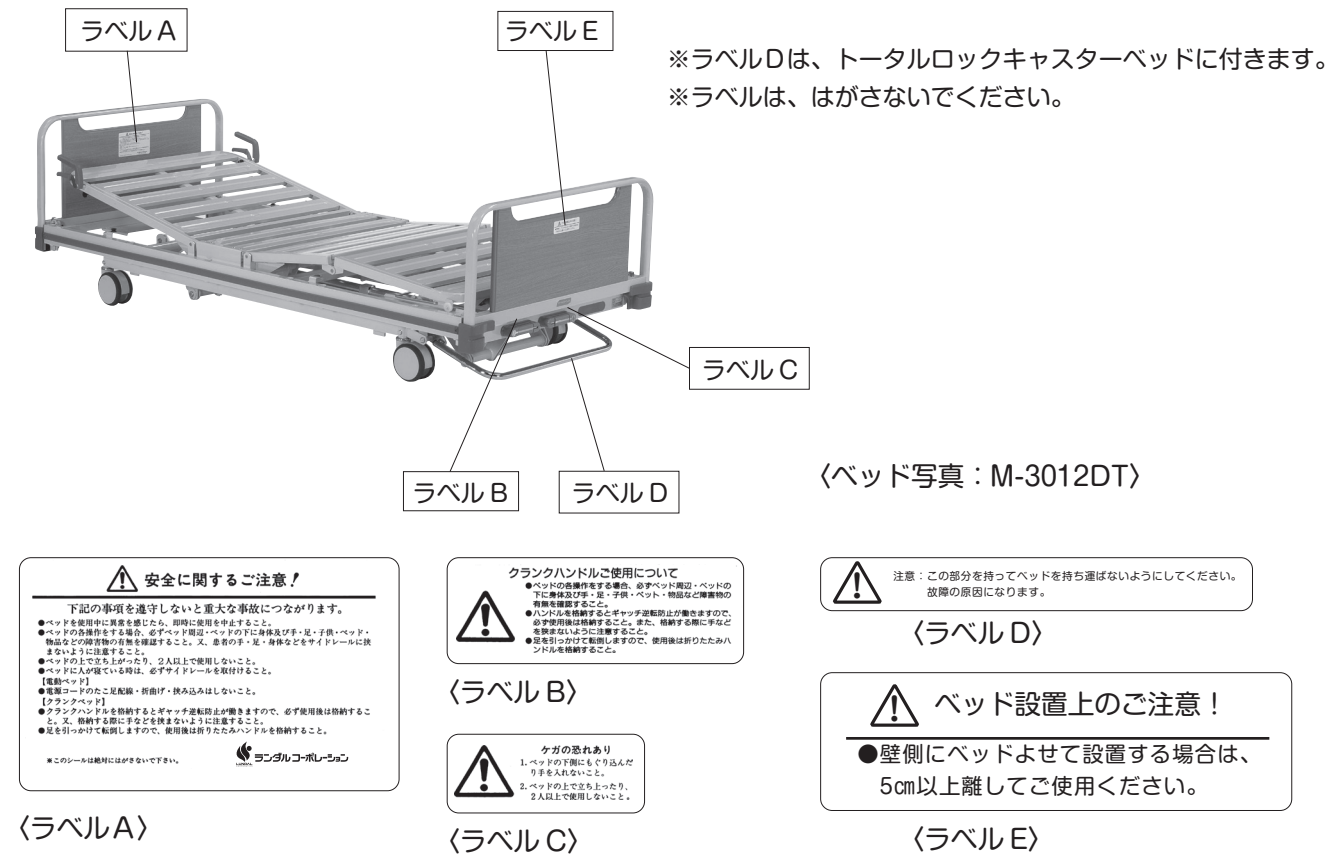
-  ベッドの回りに作動に障害となるものを置かないでください。
器物破損の原因になります。
-  殺虫剤をベッドにかけないでください。
殺虫剤に含まれる溶剤によって、ベッドが破損・変色・溶解するおそれがあります。また、破損・溶解した部分で思わぬケガをする恐れがありますので十分注意ください。



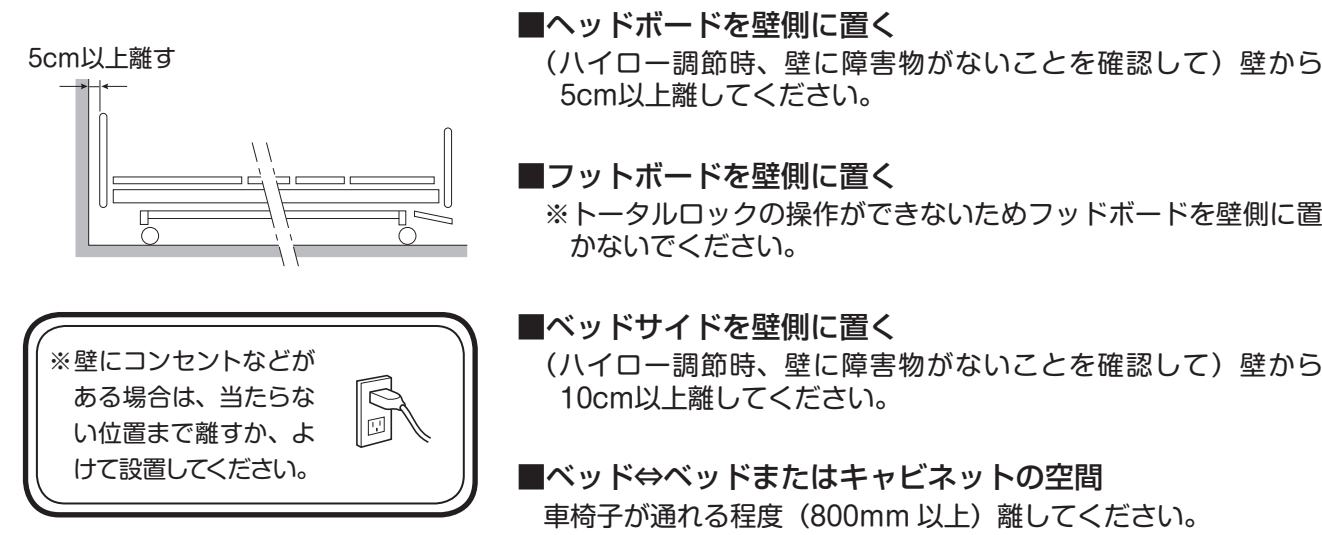
お願い

-  ベッドの耐荷重は 100kg 以下に設計されています。2 人以上の人が乗ったり、強い衝撃を与えないでください。
ベッドの故障の原因になります。
-  ベッドに異常を感じたら使用を一時中止して、販売店へご連絡ください。
そのままご使用いただくと、ベッドの故障の原因になります。

取扱いに関する「警告・注意」は、ベッドにもラベルで付いています。ラベルの張り付け位置および種類を下記に示します。



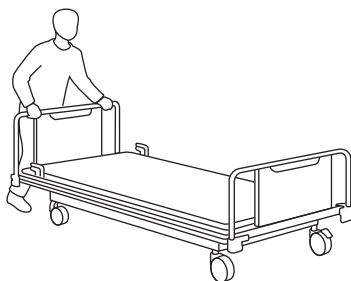
ベッド設置時のご注意



3. ベッドの搬送

(1)ベッドを搬送する前に

- ①ヘッド・フットボードがロックされているか確認してください。
(ヘッド・フットボードのロック P-9)
- ②キャスターのがロックを外してください。
(キャスターのロック解除 P-8)



(2)ベッドを搬送する

ヘッドボードおよびフットボードの上部を持って搬送してください。

お願い

- ベッドの搬送は、必ず2人で行ってください。
- サイドレールや介助バーを持って搬送しないでください。
- 床面の大きな段差等はできるだけさけて搬送してください。
ベッドの故障の原因になります。

清掃時の取扱い

(1)ベッド・ベッド備品を清掃する前に

- ①ベッドの下部およびベッド備品は構造上突起部分が多く存在するため、手袋を着用してください。

(2)ベッド・ベッド備品を清掃する

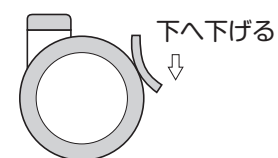
ベッド・ベッド備品は中性洗剤またはアルコールを布に浸して清掃してください。シンナー等の溶剤を用いると、塗装面が変色する恐れがあります。



【ダブルロックキャスター】

※ダブルロックキャスターは、4 輪全てに付いています。

- ①キャスターをロックする
ロック付キャスターのロックペダルを踏んで（下げて）ください。
- ②キャスターのロックを解除する
ロック付キャスターのロックペダルを上げてください。



〈ロックする〉



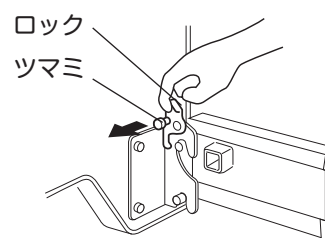
〈ロックを解除する〉



警告

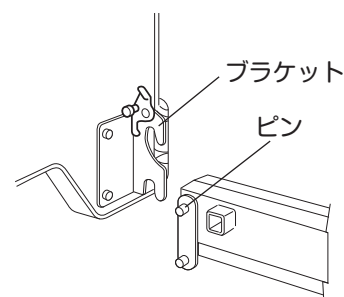
搬送時以外は、キャスターをロックしてください。
ベッドが動いて、ケガの原因になります。

(6)ヘッドボード・フットボードの脱着

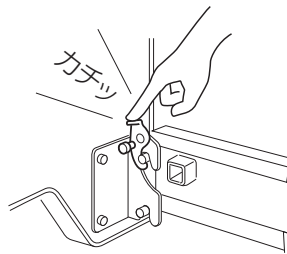


〈ロックを外す〉

- ①ヘッドボード（フットボード）を取り外す
ヘッドボード（フットボード）のロック左右の2カ所を指で引き上げ、ボードを持ち上げて外してください。
- ②ヘッドボード（フットボード）を取り付ける
ヘッドボード（フットボード）のブラケットをベッド本体のピンに引っ掛け、ロック左右2カ所を「カチッ」と音がするまで指で押し下げてください。
※ツマミを引かずに、ロックが外れないことを確認してください。



〈ピンに引っ掛ける〉



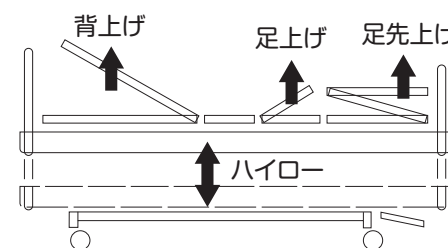
〈ボードをロックする〉



注意

ヘッドボード（フットボード）を取り外す時以外は、ロックをしてください。
ボードが外れて、ケガの原因になります。

ベッドの動き



■背上げ

シリンダーレバー操作で背ボトムに 0 ～ 80° の範囲で傾斜がつけられます。

■足上げ

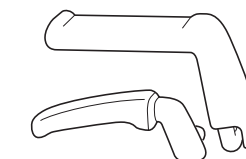
クランクハンドル操作で膝ボトムに 0 ～ 36.5° の範囲で傾斜がつけられます。

■ハイロー

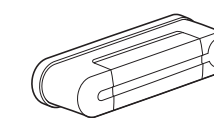
クランクハンドル操作でベッドの高さが 310 ～ 650mm（トータルロックキャスターの時 326 ～ 666mm）の範囲で調節できます。

■足先上げ

手動操作で脚ボトム先端を 1 段高くできます。



〈背上げ用シリンダーレバー〉



〈格納式クランクハンドル〉

ベッドの取扱い

1. ベッドご使用前の確認

(1)設置状況の確認

- ・障害物がないことを確認してください。

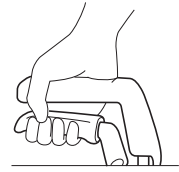
(2)ベッド状態の確認

- ・梱包用のビニール、紐が残っていないことを確認してください。

2. ベッドの操作

(1) 背上げ操作

【シリンダーレバー操作】



〈シリンダーレバーを握る〉

- ①背を上げる
シリンダーレバーを握り、背ボトムを引き上げてください。レバーを放すと任意の位置で止まります。
- ②背を下げる
シリンダーレバーを握り、背ボトムを押し下げてください。レバーを放すと任意の位置で止まります。

※シリンダーレバーは寝ている方の体重を利用して操作力が軽くなる構造です。人が寝ていない状態では、操作力が重く感じられます。

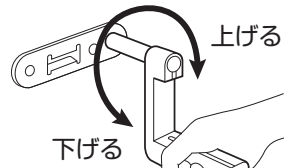
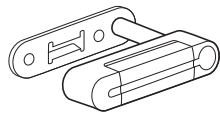


警告

背ボトムの下に体や手足を入れないでください。
背ボトムが降下する時、ボトムとフレームの間に挟まれて、ケガをする恐れがあります。

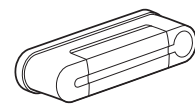
(2) 足上げ操作

【クランクハンドル操作】

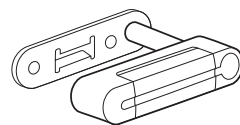


〈クランクハンドル〉

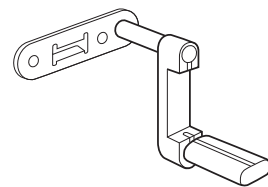
- ①足を上げる
クランクハンドルを引き出して右へ回してください。操作終了後、ハンドルは格納してください。
- ②足を下げる
クランクハンドルを引き出して左へ回してください。操作終了後、ハンドルは格納してください。



〈クランク格納状態〉



〈ハンドルをのばす〉



〈グリップをのばす〉



警告

脚・足ボトムの下に体や手足を入れないでください。
膝・足ボトムが降下する時、ボトムとフレームの間に挟まれて、ケガをする恐れがあります。

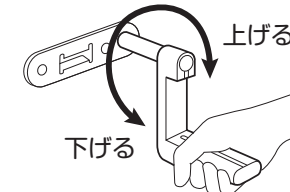
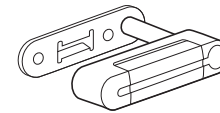


警告

クランクハンドルは操作終了後、格納してください。
ハンドルにつまずいて、ケガをする恐れがあります。

(3) ハイロー操作

【クランクハンドル操作】



〈クランクハンドル〉

- ①ベッドを高くする
クランクハンドルを引き出して右へ回してください。操作終了後、ハンドルは格納してください。
- ②ベッドを低くする
クランクハンドルを引き出して左へ回してください。操作終了後、ハンドルは格納してください。

※クランクハンドルののぼし方は、P7 (1) 背上げ【クランクハンドル操作】をご覧ください。



警告

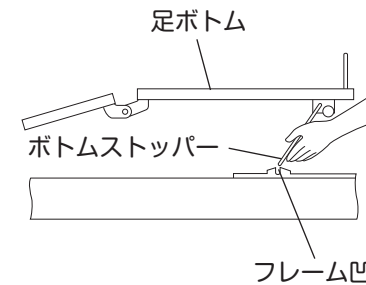
ベッドの下に体や手足を入れないでください。
ベッドが降下する時、ボトムとフレームの間に挟まれて、ケガをする恐れがあります。



警告

クランクハンドルは操作終了後、格納してください。
ハンドルにつまずいて、ケガをする恐れがあります。

(4) 足先上げ…(足上げを上限まで上げてから操作を行ってください)



〈凹部およびボトムストッパー〉

- ①足先を高くする
足ボトムを持ち、足ボトムを持ち上げながらボトムストッパーをフレーム凹部に入れてください。
- ②足先を低くする
足ボトムを持ち、足ボトムを少し持ち上げたボトムストッパーをフレーム凹部から外し、ベッド内側（頭側）へ折り曲げて足ボトムをゆっくり下げてください。

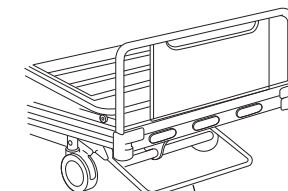


警告

足ボトムが平らな状態で足先上げを行わないでください。
足の下側に隙間が生じ、ケガをする恐れがあります。

(5) キャスターのロック

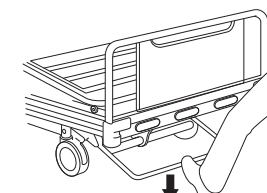
【トータルロックキャスター】



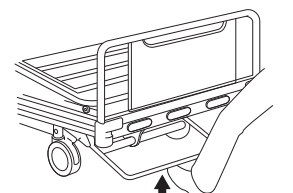
ロックペダル

※トータルロックキャスターは、1カ所のペダル操作で4輪をロックすることができます。

- ①キャスターをロックする
フットボード下部にあるロックペダルを足で踏んで下へ押し下げてください。
- ②キャスターのロックを解除する
フットボード下部にあるロックペダルを足先で上へ引き上げてください。



〈ロックする〉



〈ロックを解除する〉